

6月の園だより



2023.6.1発行
社会福祉法人 楡の会
児童発達支援センター
きらめきの里

今年も『きらめきママの』子育てサポート講座』は、クラス毎に年間6回、各クラスのお子さんやお母さん達の経験やニーズに合わせて、『好事作り』の子育ての話をさせていただきます。

ばななクラス1回目のサポート講座で、感触遊びについてのお話をしました。

昔、読んだ本に書いてあった事に感激し、それを書きとめ
それ以来、担任時代も今も大事に考えている内容の話です。



私たちの体の表面積の中で、手が占める割合は10分の1ほど。

なのに！手と指をコントロールするために使われる大脳の領域は、3分の1以上を占めると言われています。

特に、指先には脳に繋がっている神経(細胞)が多いのです。それが、『第2の脳』と言われる理由です。

(ごめんなさい…本の題名は?)

日常生活の中にもいっぱい手指を使う場面はありますが「~させる」のではなく、感触遊びの中でお母さんやお父さんと一緒に「楽しい！」を共有しながら指先で触れる、つまむ、つぶす、伸ばす、丸める、容器に入れる、道具を使って切る etc.

オノマトペもいっぱい使い声掛けながら、楽しんで欲しいと願っています。子どもにとって、遊び=学びです！

お母さんやお父さんにたっぷり代弁してもらい、待ってもらい、認めてもらい、褒めてもらい、安心と満足感を作ってもらう経験を積み重ねてきたおひこさんは、必ず、すくすく育ちます！健やかに成長します！

そのためにも、是非、好事作りの色々な方法を知って、利用して頂けるように願っています。



★★★★今月のエピソード★★★★

1・グングン発達する時って、言葉だけじゃない！！

同じクラスのBくんがトイレに入ってしまったのを見て追いかけたAくん。職員の促しに応じてAくんもトイレに入り、Bくんの真似をして座りました。オシッコは出なかったけれど、座れたのでOK！紙パンツもズボンも、まだはくのに時間がかかりますが、ママは声掛けながら見守り待ってから「手伝っていい？」と声掛けました。そして、Bくんを追ってホールに行こうとするAくんに「あ！これもお願ひ！」と箱の片づけが終わっていないことの注意を促し、最後は「手を洗ってから、Bくんを探しにホールに行こう！」と提案しました。ママはAくんの代弁をしつつ、否定制止の言葉を使わない声掛けをして、それに応じたAくんを必ず褒めていました。

別の日も、トイレに入ると、あれは何？これは？と周りの物が気になって集中できないAくんに、ママは代弁して付き合いながら、次の行動を意識出来るように声掛けをしていました。

通園2年目のAくんは、ママや職員の声掛けに、直ぐに注意を向けることができるようになり、自分の心に思ったことを短い言葉で表現できる様になりました！昼遊びも担任の仲介で、クラスの友だちを意識しながらホールで“ヨーイドン”の遊びを繰り返しいっぱい楽しむ事ができ「ヤッター！」とジャンプして喜ぶ姿も見せてくれるまでになりました！ママは、それが子育てに役立つ方法だと理解し、意識して努力して

“好事作り”の関わり方と声掛けを続けています。Aくんは、心も遊びも周囲の状況や人への関心もどんどん広がっています。ママの頑張り、本当に素敵です♡



2・わが子の育ちを感じ、喜び信じているから！！

「最近体調も良くて探索の行動が増えました！」と嬉しそうに話してくれたのは、通園3年目のCくんのママ。「今はドアを開閉するのが好きで、ホールに自分から出たがるようになって。言葉の理解も進んで(3か所に通っている)私が朝の会の歌を歌うと、その日はどこに行くのかが分かるようになって、車でわざと違う道を行くとCが私に“ちがう”と怒るんです(笑)」と。わが子の発達を理解しているからできるママの“違う道に行く”という試し！とっても素敵なママに、自分の成長を信じ見守ってもらえるCくんは、本当に幸せ～ですね♡ 田野準子